

高槻図書室の現状と課題

川島 康史

1 高槻図書室の概略について

本学千里山キャンパス（大阪府吹田市）にある総合図書館の分室である高槻図書室は、総合情報学部を有する関西大学高槻キャンパス（大阪府高槻市）図書・教室棟地下1階にあり、和図書を約27,000冊、洋図書を約11,000冊の合計38,000冊。雑誌は247タイトル、スタンドアロン利用のCD-ROMを37タイトル所蔵しており、年間の図書増加冊数は概ね4,000冊程度となっている。座席は200席で蔵書検索用のパソコンが4台、CD-ROMデータベース検索用パソコンを2台、マイクロリーダープリンター1台を備え付けており、本館である総合図書館と同等の図書館サービスを提供している。また、オーディオ・ビジュアルコーナーにはレーザーディスクプレイヤーやビデオデッキ（各5台）、カセットテープレコーダー（2台）を配置している。さらに、人権資料コーナーとして高槻キャンパス分の本学人権問題研究室備え付け資料を約1,000冊配架している。

なお、高槻キャンパスの大学院棟の2階にはデータライブラリーという施設が設けられており、ここは図書館施設ではないが、係員が常駐して総合情報学研究所大学院学生を対象に図書館サービスを行っている。また、図書館蔵書の一部である参考図書を約240冊、雑誌を66タイトル、CD-ROMを10タイトル所蔵し、マイクロリーダープリンター1台を備え付けている。

データライブラリーで提供したサービス件数も含めた、高槻図書室での資料利用実績については、本誌の基礎資料のページに掲載しているとおりである。また、これらの件数は本学総合情報学部構成員（学部学生、大学院学生、教職員など。以下「構成員」と記す）が、高槻図書室に総合図書館蔵書を取り寄せて利用した件数も含まれている。

ちなみに、平成11年度の総入室者数は89,371人で、構成員1人当たりの平均入室回数は33回であった。

2 学内相互利用について

高槻図書室は小規模とはいえ、構成員が求める資

料を可能な限り所蔵している図書室、という状態を目指さなければならないし、そのためにも、利用動向を踏まえた的確な資料の選択が求められる。しかしながら、それにも、おのずと限度があるため、総合図書館や学内の各資料室、研究室との相互貸借は1日たりとも欠かすことができない。幸い、千里山・高槻両キャンパス間には、毎日連絡便が行き来しているので、総合図書館等に取り寄せを依頼した資料は概ね翌開室日には利用者に提供できる。けれども「今日中に見たい（借りたい）」ので、今から総合図書館に行きます。」という大至急の閲覧を希望する利用者も時々見かけられる（ちなみに、総合情報学部学生の中には、卒業するまで1度は総合図書館を利用したい、と希望する学生も見受けられる）。

また、当然のことながら、当該資料が見当たらない、という残念な返事が返ってくることもある（もちろん、総合図書館の利用者が請求した高槻図書室蔵書が見当たらない場合もある）。ところで、この「資料が見当たらない」場合、当該資料（総合図書館蔵書）が前日、高槻図書室で返却されたので、当日は総合図書館に搬送中の状態となり、結果として、取り寄せ依頼があったその日は当該資料が見当たらなかった、という稀とも思われるようなケースが、特にレポート作成の課題が授業の中で出た時や試験期間中に意外と発生しており、残念ながら現状では、この問題の解決策は見当たらない。

このように請求された資料が見当たらない場合、利用者には「見つけ次第連絡します。」と伝えておいて、現物が確認され次第、連絡するほかないのだが、致し方ないこととはいえ、このようなときには、利用者の事情を考えると申し訳ない気持ちになるものである。

ちなみに平成11年度の高槻キャンパス（図書室、データライブラリー）から、千里山キャンパスの総合図書館及び各資料室、研究所への資料取り寄せの依頼件数は表1、総合図書館からの高槻図書室蔵書の取り寄せ依頼件数は、表2のとおりである。

3 「高槻図書館ベスト100」について

今回、初めて平成11年4月から平成12年1月までの間の、高槻図書館蔵書の貸出ベスト100が表3の結果で出力された。ざっと見渡しても、当然のことながら、総合情報学部だけあって、コンピュータ・情報科学関連書が多く見受けられる。また、資格関連書で挙がっているものも、殆ど全てがシステムアドミニストレーター、CG検定、情報処理技術者といった情報科学関連のものであることにも、総合情報学部の特徴が顕著に出ていると言えよう。

ところで、それらに混じって様々な分野の書名も目について、意外に思われる向きがあるかもしれない。しかしながら、これは当然のことで、総合情報学部では、「あらゆる領域の問題を“情報”の視点から解明する」という基本的な教育・研究理念のもとに、様々な科目・演習が開講されている。それらは情報科学にとどまらず、心理学、政治学、法学、経済学、経営学、会計学、社会学、教育学、広告学、言語学、数学、物理学、経営工学、環境学、土工学、建築学、電子工学と、教育・研究領域は実に幅広いものとなっており、これこそが、総合情報学部の“総合”たる所以であると言えよう。

また、ところどころに人気作家の小説や、近年話題になったベストセラー小説が挙がっている。それにしても、10年以上も前に大ベストセラーとなった村上春樹『ノルウェイの森』の人気は根強いものがあるようだ。なぜならば、前誌第4号に掲載された「総合図書館開架図書貸出ベスト100」でも同書の上巻が第7位に挙がっていたのだから。村上春樹も今や国民的作家なのだろうか。

4 小説の扱いについて

「高槻図書館貸出ベスト100」には、先述の『ノルウェイの森』のみならず、他に何点もの話題となった小説が挙がっているが、学部学生からの購入希望には学習用の資料のみならず、このような文学賞等を獲得して話題となった、あるいは大ベストセラーとなっている小説の購入希望等もよく出されている。しかしながら、小説の類は学習・研究用資料の場合ほどには希望通りに購入できない。なぜなら、大学図書館の存在目的が、学生、研究者の学習と研究に資する、というものであるため、小説は必ずしもその目的に合致するものでなく、これは致し方ないことではあろう。

けれども、その目的に合致しないからといって、

小説の類を極力購入しない(さらには、旅行ガイドや「ぴあ」なども購入しない)ことになれば、学生等利用者にとっては極めて味気ない図書館(室)となってしまうように思う(もちろん、本学図書館はそのようなことはないだろうが)。小説だから、ということで、あるいは「文学作品」ではないから、ということで軽視することなく、特に積極的に購入する必要はないのかもしれないが、さりとて消極的にはならないよう、予算配分等も勘案しつつ、価値ある作品(この判断も難しいでしょうが、ただ、少なくとも、旧来からの概念での、いわゆる「文学作品」でないものは、価値が低い、などという判断は時代遅れのものでしょう)を収集していく必要があるだろう。

5 高槻キャンパスの雰囲気

筆者が高槻図書館に配属となって驚いたことは、図書室担当職員に対しても挨拶をしてくれる学生が何人もいることであった。時には、馴染みの職員とささやかながら雑談をする光景もみられる。これは、以前、筆者が総合図書館の窓口業務を経験したときには、殆ど経験しなかったことである(もしかしたら、かつての筆者の学生と対する態度に問題があったのかもしれないが)。総合図書館では、千里山キャンパスが抱える6学部・研究科の2万以上の学生と対応することになるわけで、図書館の窓口の係員と学生とのあいだ(学生の間でも同様であろう)の匿名性が、学生数約2,500名の高槻キャンパス(総合情報学部・研究科)では、低くなるから、このような光景がみられるのだろうし、図書室内での不正行為(資料の無断持出等)や貴重品の盗難といった事態もめったに起こらないのではないかと。

反面、それだけ匿名性が低い分、私達の仕事ぶりがしっかり注目されている、ということではないかと思う。そう考えると、学生から挨拶されるたびに、日頃、自分は高額な学費を投じて学んでいる彼、彼女らに対して的確な対応ができているのか、と常に問い直しを迫られているような気がしてならない。

6 書架増設の必要性

高槻図書館にとって、書架増設は遅くとも平成13年度中には実施しなければならない重要な課題である。なぜなら、現在の書架では約46,300冊が収蔵可能だが、先述した現在の所蔵冊数と年間の増加冊数を勘案すると、あと2年ほどで書架が満杯になるこ

とが予測されるためである。そこで、現状の限られたスペースで、より多くの冊数が収容できるよう、収容効率の良い電動式集密書架をメインに据えた増設の計画を立てている。

資料数が増加する一方であるのは間違いないが、さればとって、全ての資料を保存すべき、ということにはならない。特に、情報科学関係のような日進月歩が著しい分野で内容の古い資料が大量に配架してあっては、いくら、最新の内容の資料も完備していたとしても、大抵の利用者にとってノイズが多いことに他ならないだろうし、図書室に対する信頼も失われかねないのではないかと。必要度が大幅に低下した資料の除架作業は今後さらに徹底して進めていく必要がある。

7 今後取り組むべき諸課題

- (1) 最近、総合図書館のホームページが大幅に改訂されて、より充実したものとなったが、高槻図書室で運用する専用ホームページもその一角に加わりたいと考えている。既に原案はできあがっており、高槻キャンパス内では公開しているので、できるだけ早くに実現したいと考えている。

- (2) 先述した、高槻図書室蔵書の除架作業は、これまでの日常業務のなかで少しずつは行ってきたものの、除籍・抹消手続きに至る過程までを含めた、全体的な体系だった作業の流れが確立しておらず、早急に確立する必要がある。
- (3) 今後、オンライン上でのみ流通する「資料」の購入希望が増えることが予想されるが、それらも受け入れる必要があり、そのような資料の管理区分、保管形態、提供方法等、扱い方を検討する必要がある。
- (4) 2で述べたような学内相互利用のシステムにより、高槻図書室でも総合図書館蔵書を利用できるとはいえ、総合図書館に直接出向いて利用したい、特に書庫に入って利用したい、と希望する学生は少なくない。千里山キャンパスに出向くには、大変不利な地理的条件下で学ぶ高槻キャンパスの学生に対して、どれだけ、その不利な状況をカバーできる対策を講ずることができるかが問われている。これに類する問題は、高槻図書室のみならず、高槻キャンパス全体の課題でもあるのだが。

(かわしま やすし 高槻キャンパス事務局)

表1 高槻キャンパスの月別相互利用者数・利用冊数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合図書館	利用者数	976	1,246	1,632	1,809	156	577	1,598	1,555	1,358	1,473	40	20	12,440
	利用冊数	1,564	2,038	2,590	3,255	339	1,006	2,604	2,635	2,284	2,990	82	46	21,433
総合図書館以外	利用者数	85	73	92	111	36	57	109	79	63	76	0	2	783
	利用冊数	202	169	198	222	105	146	233	166	144	188	0	2	1,775
計	利用者数	1,061	1,319	1,724	1,920	192	634	1,707	1,634	1,421	1,549	40	22	13,223
	利用冊数	1,766	2,207	2,788	3,477	444	1,152	2,837	2,801	2,428	3,178	82	48	23,208

表2 総合図書館から高槻図書室への相互利用者数・利用冊数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	26	27	41	87	15	47	59	72	94	69	18	15	570
利用冊数	46	29	44	95	16	60	70	78	110	80	21	19	668

表3 高槻図書室貸出ベスト100

順位	書名	著者編者訳者など	出版社	出版年	冊数	利用回数	平均回数
1	マス・コミュニケーション効果研究の展開 新版	田崎篤郎ほか	北樹出版	1996	3	21	7.0
2	新C言語 ビギナー編 (C言語実用マスターシリーズ 1)	林晴比古	ソフトバンク	1991	3	21	7.0
3	図解放送業界ハンドブック	西正	東洋経済新報社	1998	1	18	18.0
4	第二種短期集中ゼミ	日本ユニシス情報処理システム教育研究会	ソフトバンク	1998	1	16	16.0
5	総合的学習の理論と展開 (総合的学習の研究 1)	水越敏行	明治図書出版	1998	3	16	5.3
6	新しい広告 新版	嶋村和恵ほか	電通	1997	1	15	15.0
7	技術標準対知的所有権 (中公新書 960)	名和小太郎	中央公論社	1990	2	15	7.5
8	第2種情報処理 午前 問題と解説 改訂版	福嶋宏訓	新星出版者	1998	1	14	14.0
9	新C言語入門 シニア編 改訂 (C言語実用マスターシリーズ 2)	林晴比古	ソフトバンク	1998	1	14	14.0
10	遺伝的アルゴリズムの基礎	伊庭斉志	オーム社	1994	1	14	14.0
11	Perlで作るCGI入門 応用編	結城浩	ソフトバンク	1998	1	13	13.0
12	ビジュアル広告の基本 (日経文庫 679)	清水公一	日本経済新聞社	1998	1	13	13.0
13	教育メディア利用の改善 (教育方法改善シリーズ 4)	赤堀悦司	国立教育会館	1995	2	13	6.5

高槻図書館の現状と課題

順位	書名	著者編者訳者など	出版社	出版年	冊数	利用回数	平均回数
14	対策C G 検定 98年版	コンピュータイメージ研究所	新紀元社	1998	1	13	13.0
15	現代メディアとコミュニケーション (Sekaishiso seminar)	井上宏	世界思想社	1998	2	13	6.5
16	速攻第2種まとめと問題	小川真一	日本経済新聞社	1998	1	13	13.0
17	新Visual C++5.0入門 シニア編	林晴比古	ソフトバンク	1998	1	12	12.0
18	マルチメディア標準テキストブック コミュニケーションデザイン編		画像情報教育振興協会	1997	1	12	12.0
19	オペレーティングシステム (情報処理入門コース 2)	清水謙多郎	岩波書店	1992	2	12	6.0
20	だれでもカンタンDynamic HTMLサンプル集	高橋登史朗	秀和システム	1998	1	12	12.0
21	初級システムアドミニストレータ合格教本 平成10年度版	長州岳男	技術評論社	1998	1	12	12.0
22	コンピュータ資格のすべてがわかる本	法学書院編集部	法学書院	1998	2	12	6.0
23	マルチメディア検定ガイドブック	CG-ARTS協会	日経B P社	1996	1	12	12.0
24	ノルウェイの森 上	村上春樹	講談社	1989	1	12	12.0
25	Perlで作るC G I入門 基礎編	結城浩	ソフトバンク	1998	1	12	12.0
26	ニューメディアと社会生活	竹内郁郎	東京大学出版会	1990	2	12	6.0
27	バーナード 経営者の役割 (有斐閣新書 古典入門)	飯野春樹	有斐閣	1979	2	12	6.0
28	インターネット広告	戸田覚	ダイヤモンド社	1996	1	12	12.0
29	データベースがわかる本	鈴木健司	オーム社	1998	1	12	12.0
30	C G 検定基礎コンピュータグラフィックス	長江貞彦	共立出版	1997	1	12	12.0
31	第2種 要点・重点 短期集中速攻対策 平成10年度秋期版	加藤昭	技術評論社	1998	1	12	12.0
32	かんたんプログラミングVisual Basic 5 基礎編	川口輝久ほか	技術評論社	1997	1	12	12.0
33	新Visual Basic入門 ビギナー編	林晴比古	ソフトバンク	1997	1	12	12.0
34	フラクタル数学	石村貞夫ほか	東京図書	1990	1	12	12.0
35	メディア・コミュニケーション論	竹内郁郎	北樹出版	1998	2	12	6.0
36	T O E I C テスト攻略スピード・リーディング	木村哲夫	アルク	1998	2	12	6.0
37	初級シニアド完全攻略ゼミ	日高哲郎ほか	リックテレコム	1998	1	12	12.0
38	情報処理技術者のためのコンピュータの基礎	横田栄一	共立出版	1992	2	11	5.5
39	情報ネットワーク時代の法学入門	堀部政男ほか	三省堂	1989	2	11	5.5
40	基礎C言語 (情報処理入門コース 6)	土居範久	岩波書店	1991	2	11	5.5
41	コンピュータ基礎の総合研究 平成10年度秋期版	安藤明之	技術評論社	1998	1	11	11.0
42	2種情報実問題 98	加藤昭	オーム社	1997	1	11	11.0
43	第二種情報処理技術者合格完全対策 98年版	藤本喜弘ほか	経林書房	1997	1	11	11.0
44	つくみ	吉本ばなな	中央公論社	1989	1	11	11.0
45	うわさの謎	川上善郎	日本実業出版社	1998	1	11	11.0
46	ハナムーン	吉本ばなな	中央公論社	1997	1	11	11.0
47	ループ	鈴木光司	角川書店	1998	1	11	11.0
48	鉄道員 (ぼっばや)	浅田次郎	集英社	1997	1	11	11.0
49	インターネット法学年内	インターネット弁護士協議会ほか	日本評論社	1998	1	11	11.0
50	衛星デジタル放送のすべてがわかる本	近藤雅和	ぱる出版	1998	1	11	11.0
51	TCP/IP&PPP ちょ～入門	栗林誠也	広文社	1998	1	11	11.0
52	電子情報ネットワークと産業社会	野口宏	中央経済社	1998	1	11	11.0
53	インターネット広告革命 (S o h o)	片方善治	同文書院	1997	1	11	11.0
54	標準XML完全解説	X M L S G M L サロン	技術評論社	1998	1	11	11.0
55	ここまでできるL A T E X 2e パワーガイド	青山耕治	秀和システム	1998	1	11	5.5
56	経営キーワード辞典	筒井信行	自由国民社	1995	1	11	11.0
57	C G I のための実践入門Perl	三島俊司	技術評論社	1998	1	11	11.0
58	新C言語入門 スーパービギナー編 改訂	林晴比古	ソフトバンク	1998	1	11	11.0
59	マルチメディア検定基礎	長江貞彦	共立出版	1998	1	11	11.0
60	JavaScript入門	半場方人	技術評論社	1998	1	11	11.0
61	遺伝的アルゴリズム	北野宏明	産業図書	1993	1	11	5.5
62	Java入門 改訂新版 (Internet language 3)	河西朝雄	技術評論社	1998	1	11	11.0
63	放送 2000 (最新データで読む産業と会社研究シリーズ 2)		二期出版	1998	1	11	11.0
64	初級シニアドパワーアップテキスト	小林秀行	リックテレコム	1999	1	11	11.0
65	音楽行動の心理学	ルードルフ・E ほか	音楽之友社	1985	1	11	11.0
66	広告読本 (東洋経済 読本シリーズ)	八巻俊雄ほか	東洋経済新報社	1983	1	11	5.5
67	ファジィ理論とその応用	水本雅晴	サイエンス社	1988	1	11	11.0
68	対策C G 検定 99年版	コンピュータイメージ研究所	新紀元社	1999	1	11	11.0
69	ノルウェイの森 下	村上春樹	講談社	1989	1	11	11.0
70	プログラミング手法と流れ図 (情報処理入門シリーズ)	馬場史郎	啓学出版	1987	1	11	11.0
71	これならわかるレジストリ	丹羽清隆ほか	ディー・アート	1998	1	10	10.0
72	Illustrator 7.0J menu master for Wi	エクスメディア	エクスメディア	1997	1	10	10.0
73	データベース入門	小碓暉雄	啓学出版	1983	1	10	10.0
74	よく出る分かる第2種 午前 問題集 98 / 99年度版	日高哲郎	日本経済新聞社	1998	1	10	10.0
75	学習とニューラルネットワーク (電子情報通信工学シリーズ)	熊沢逸夫	森北出版	1998	1	10	10.0
76	広告に携わる人の総合講座 平成10年版	日経広告研究所	日経広告研究所	1998	1	10	10.0
77	ダバカンのS T R A T A ビューンビューン3Dグラフィック	駄場寛	アスキー	1995	1	10	10.0
78	図解でわかるUNIX	川口直樹	日本実業出版社	1998	1	10	10.0
79	C言語の総合研究 平成10年度秋期版 (第2種情報処理試験合格ゼミ 4)	高田美樹	技術評論社	1998	1	10	10.0
80	簿記入門	可児島俊雄ほか	税務経理協会	1995	1	10	10.0
81	新C++入門 (C言語実用マスターシリーズ 5)	林晴比古	ソフトバンク	1998	1	10	10.0
82	広告表現バイブル	奥野貴司	T B S プリタニカ	1997	1	10	10.0
83	ネット・ビジネス最前線	前川徹	スパイク	1998	1	10	10.0
84	マルチメディアビデオオンデマンド「マルチメディア解説シリーズ 6」	笠原久嗣	昭晃堂	1999	1	10	5.0
85	会計用語辞典 4版 (日経文庫 260)		日本経済新聞社	1992	1	10	10.0
86	マルチメディア標準テキストブック 社会論編		画像情報教育振興協会	1997	1	10	10.0
87	C G 検定2級問題集 平成10年度版		画像情報教育振興協会	1998	1	10	10.0
88	新・知の技法	小林康夫ほか	東京大学出版会	1998	2	10	5.0
89	広告論概説 (Sekaishiso seminar)	大石準一	世界思想社	1994	1	10	10.0
90	日本の情報公開法	鶴岡憲一ほか	花伝社	1997	1	10	10.0
91	コンピュータがひらく豊かな教育	田中俊也	北大路書房	1996	1	10	10.0
92	現代広告学を学ぶ人のために	山本武利	世界思想社	1998	1	10	10.0
93	テレビCMを読み解く (講談社現代新書 1352)	内田隆三	講談社	1997	1	10	10.0
94	Windows 95 API バイブル 1	Richard J. Simonほか	翔泳社	1996	1	10	10.0

図書館フォーラム第5号(2000)

順位	書名	著者編者訳者など	出版社	出版年	冊数	利用回数	平均回数
95	ベーシック/簿記入門(日経文庫 604)	桜井憲二	日本経済新聞社	1989	1	10	10.0
96	少年H 上巻	妹尾河童	講談社	1997	1	10	10.0
97	情報操作のトリック(講談社現代新書 1201)	川上和久	講談社	1994	1	10	10.0
98	初級システムアドミニストレータ合格教本 平成9年度版	長州岳男ほか	技術評論社	1997	1	10	10.0
99	情報処理技術者試験第二種出題傾向と対策 10年度秋期版	高橋敏夫ほか	税務経理協会	1998	1	10	10.0
100	新・HTML & CGI入門	笹木望ほか	エーアイ出版	1996	1	10	10.0
101	対策CG検定 96新版	コンピュータイメージ研究所	新紀元社	1996	1	10	10.0